

- ② 大学の学生であった者が、小・中・高校等の教育職に一定年限従事した場合、一部または全額免除される。
- ③ 大学院の学生であった者が、大学や特定の試験所、研究所、文教施設で教育または、研究の職に一定年限従事した場合、上記②同様免除される。
- (4) 奨学生の補導
 本会の事業が国費で営まれており、奨学生の成績には社会の期待がかかっていることを全員に自覚させるため、本

会と奨学生の関係を単に金銭的にとどめず、精神的なつながりをもたせ、充実した生活を送るよう種々の方法によって補導している。これらの方法として「面接・相談・座談会」「学業成績・健康・生活状況の調査」「成績不振者督励」などを行ない、機関紙「育英」を発行している。

また、奨学生の外部組織として、卒業した奨学生によって結成された「育英友の会」の全国的な組織があり、各支部と一緒に活動している。

表1 日本育英会奨学生種別表

区分	学 校 別	採用別	応 募 学 年	貸 与 月 額	募 集 時 期	備 考
一般貸与奨学生	高等学校	通常	在 学 生	{ 1年生 3,000 2年生以上 1,500	4月と9月	(1)は13学年 (2)は45学年 (3)は修士課程 (4)は博士課程 (5)は自宅外通学者 (6)は私立大学に適用 ※は通信教育はスクーリングを受けた者
	高等専門学校	"	"	{(1) 3,500 (2) 3,000~※4,000	4月と9月	
	大 学	"	"	6,000~※8,000	4~5月と10~11月	
	" (通信教育)	"	"	(6) 35,000	適 時	
	工業教員養成所	"	"	6,000	4~5月と10~11月	
	養護教諭養成所	"	"	6,000	2~3月頃	
	大 学 院	"	"	{(3) 23,000 (4) 30,000	予約制度あり	
芸 術 専 攻 科	"	"	23,000			
特別貸与奨学生	高等学校	通常	在 学 生	{ 1年生 4,000 2年生以上 3,000	4 月	
	"	子 約	中学校第3学年	4,000	4 月	
	高等専門学校	"	"	[4,500~6,000 (5) { 6,000~10,000 ※10,000~※12,500	"	
	大 学	"	高校最高学年	[5) 8,000~※11,000 12,000~※17,000	4~5月	
	" (教育)	"	"	[5) 8,000~※11,000 12,000~※17,000	"	
	工業教員養成所	"	"	[5) 8,000 12,000		

- (注) 1. 応募は各学校を通じて行なう。
 2. 高等学校と特別貸与奨学生(予約)の採用は支部で行なう。
 3. 高専校、大学および他の奨学生については在学中の各学校で行なう。

表2 日本育英会による県内高等学校奨学生数および採用状況

(47. 3. 1 現在)

年度	種 別	継続貸与	新 規 採 用						採 合 用 数 計	奨 総 学 生 数			
			子 約		1 次 採 用		2 次 採 用						
			出 願	採 用	出 願	採 用	出 願	採 用					
45	一般貸与奨学生	851	人	35	人	86	人	63	人	2	184	人	1,035
	特別貸与奨学生	699	440	251	117	116	30	30	5	402	1,101		
	計	1,550	504	286	217	202	93	93	7	586	2,136		
46	一般貸与奨学生	512	-	-	79	79	29	29	-	108	620		
	特別貸与奨学生	749	338	315	115	115	37	34	3	467	1,216		
	計	1,261	338	315	194	194	66	63	3	575	1,836		

表3 日本育英会による予約奨学生の県内採用状況

(47. 3. 1 現在)

年度	高校・高専校子約 (中学第3学年対象)				大 学 子 約							
	一般奨学生		特別奨学生		大 学 特 別 奨 学				教育特別奨学生 (義務教員志望者)			
	出 願	採 用	出 願	採 用	出 願	採 用	出 願	採 用	出 願	採 用	補 欠	計
45	人	人	338	334	435	213	137	135	2	137		
46	-	-	367	356	311	227	167	128	26	154		